

童

2014年10月31日.

「朝霧は晴れる」という諺通り、朝晩めっきり冷え込むようになり、そんな日は、霧の中から紅葉の林が浮かび始め、太陽の光が差し込んで秋の好天になり、そんな日が続くようになりました。

恒例の薪運び、薪上げも無事終了し、冬への備えも万全となりました。薪運びの子ども達の姿は、子どもの成長を見る大きなバロメーターとなります。その量の多さ、力強い顔、集中時間、そして気力、本当に労働しているという雰囲気です。それを見ているだけで、沸々とエネルギーが湧きあがります。この熱さが、薪に伝わり、暖かい冬を過ごすことができるでしょう。あちこちに薪の壁が出来上がり、まもなく煙突から煙があがる日が近いでしょう。

また、秋の収穫もどんどん進んでいます。好天に恵まれた稲刈りや脱穀そして芋ほり。これからは、リンゴや柿の収穫。秋の味覚をたっぷり味わえる季節がやってきます。五穀豊穡の里山の季節を迎えていますが、一方、田圃の稲が刈り取られ、リンゴの木から赤い実がなくなる光景は、一抹の寂しさと冬の訪れを感じさせてくれます。

それでも、子どもたちは魔女の森やアスレチックで連日歓声をあげています。寒くなると、この北向きの斜面は寒くなり、来年の春までは一番長く雪が残る場所です。それだけに、この季節、たっぷり遊びたいと思っています。

まだまだ熱くなってたっぷり食べて遊ぶ日が続きます。



【作る 創る 造る】

昨夜の細川律子さんの宮澤賢治朗読会はすごかったです。約10年前から続く朗読会。夜の雰囲気は素晴らしかった。その内容はもちろん、暗い中、子どもたちの話し声が遠くから聞こえてきて、みずぐるまの赤い街灯に照らされての受付に集う子どもたちの姿。過去最高の参加者で埋め尽くされたのはな文庫。この夜の活気に感激しました。前日から長女が、給食と賢治ヲチのために戻ってきて、前日から大地の厨房は、長男長女次男そして友人たちで活況を極め、まさに若人の厨房化しており、連日連夜晩餐会が続いています。

このみずぐるま完成のお蔭で、エネルギー溢れる人が集まり、多くの会合やイベントが開かれるようになりました。中心ののはな文庫も、より高い質を目指して、ののはなさん達が連日エネルギー溢れる活動をして下さりまぶしいばかりです。

さて、今年のみずぐるまの完成に幕を開け、作る、創る 造るの連続でした。思い返せば、

まず、アスレチック取り壊し及びカラマツ林間伐作業。5月の大型連休明けに切り倒されている膨大なカラマツを見た時、これをどう片付けるのかと眼がくらむ光景でしたが、何とか乗り越え、光の差し込む林ができました。

次に、この膨大なカラマツの薪をどうするか。これを利用してチップを作ろうと考え、一昼夜連続でチップを作り続け、大地の庭や歩道に全面的に敷き詰め、美しく快適な道が出来上がりました。まさに森に感謝です。

アスレチックの再構築を考えていたところ、ツリーハウス建築のプランが無い込み、見学にいき、イメージが高まり、そして、子どもたちが遊べるツリーハウスとアスレチック混合施設の建設が始まったのは、夏休み中でした。この通称魔女の森の建築イメージ。

昨夜、連日創作オリジナル料理を作っている長女が、自分の料理作りに対する想いを語っていました。「私の料理は、まずイメージ先行。こんな料理を食べたい、例えば、魔女の料理でカエルやナメクジ、毒キノコ（魔女図鑑に載っている魔女のイメージ）料理を食べたいと思うと、そのイメージに合う素材を見つけ、どのように作るか、この考える過程が最高に楽しいそして、それを料理で実践する・・・」

これを聞いて、完全にお父さんと同じだと痛感しました。これは俺の遺伝だと密かに心の中でしてやったりと微笑みました。私も、子どもたちの遊ぶイメージ、世界を描き、それにはどうしたらよいか考え実行することが大好きです。ツリーハウスも、今の子供たちが遊んでいる姿が事前にイメージできたので、それを常に頭に描きながら作っていきました。このイメージして考え生み出していく過程が最高ですね。きっと、長女もこんな過程を楽しんでいるのでしょうね。一人で黙々と鼻歌を歌い、好きな音楽をかけて厨房でいつ何時でも作っている姿はそっくりです。

ツリーハウスアスレチックができれば、その背景の森を整備したくなり、それにまつわる歩道も欲しくなり、森の整備も行いました。連日の間伐と草刈、子どもたちは連日間伐した材木を運び出してくれました。そうそう忘れてならないのは、鼻見城址の開拓作業。現在でも週1回はマウンテンバイクで走っていますが、子ども達と一緒に切り開いた道は、歴史に残る道となっています。今でも快適な道が維持されています。その経験のお蔭で、大地の周囲の林は、子ども達のお蔭で美しい森となり、ツリーハウスがより美しく映えるようになりました。

そして、もう一つの課題であったクライミングの壁製作。業者に頼んでも忙しくて先伸ばしになっており、これは自分でやるしかないと考え、その製作方法を調べ学び、完璧にマスターできたので、先週取り組み始め、3日前に無事完成となりました。製作自体は難しくはなかったのですが、大地ミニのあの部屋の雰囲気にもどのようにマッチさせるかという点が、ポイントでしたが、こちらも自分の事前のイメージ通り、オリジナルとシンクロのお蔭で、満足のいくしあがりとなりました。ほとんどの人や大地ミニの参加者も、ここにクライミングウォールがあることは気づきませんでした。来週から、いよいよ子ども達へのお披露目となります。（**体育館シューズという学校の上履きをご用意下さい。**）

これで今年はおしまいと思いきや、もう一つ東屋建築が残っていました。こちらも、当初は業者に頼む予定でしたが、業者も忙しく、なかなか着工してもらえないので、お断りして結局、大工の叔父さんの力を借りて自分でやることに。お蔭で予算は半分で納まり、2棟作ることにしました。場所も2点3点して、来月4日から作り始めます。またまた子どもたちが活躍する場ができそうです。この東屋も、子どもたちがここでどのように過ごすかは、やはり自分のイメージがあり、たぶんその通りに完成することでしょう。

自分が子どもだったら、どのように遊んだら楽しいか、子どもたちがどのように群がり遊ぶか、どんな世界も実際に具体的に暮らす、使うイメージをその視点に自分を置いてから、創ることが大きな魅力ですね。

